

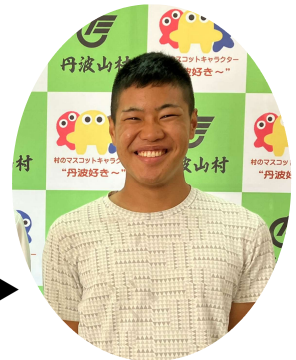
地域おこし協力隊通信

発行：令和4年7月28日

地域おこし協力隊インターンの新垣さんが卒業、 渡辺さんが着任しました！

今年4月から受け入れを開始した地域おこし協力隊インターンの第一期生、新垣貴大さんが3カ月の活動期間を終え、インターンを卒業しました。また、新垣さんと入れ替わりになる形で、渡辺涼さんが7月1日付で着任しました。

インターンを卒業した新垣貴大さん▶



▲岡部岳志村長から委嘱状を受け取る渡辺涼さん

名前：渡辺涼（わたなべ・すず）

出身：東京都文京区

所属：株式会社アットホームサポーターズ

ご縁あって丹波山村に遊びに来た時に、自分が持ちえない「リアルさ」を感じ、この村に惹きつけられました。里山の文化、暮らしを学んでいきたいです。せっかく近くに山がたくさんあるので、いろんな山に登りたいです。野草のことも学びたいなと考えています。村のこと、山のこと、いろんなお話をお聞きしたいです！よろしく願いいたします！

ささら獅子舞に 初参加しました

地域おこし協力隊の樋口雅紀さんと仲野宏樹さんが村の文化財保存会に加わり、7月16、17日の土日に行われた祇園祭に初参加しました。

昨年9月に丹波山村に来て、デイサービスで過去のささら獅子舞の映像を見て、「やってみたい！」と思い、文化財保存会に入らせていただきました。保存会のみなさんからいろいろと教わりながら練習をし、一つ一つの動きが見ているよりも難しいんだなと感じました。

本番当日、踊ってみると、獅子だけでなく、御囃子、ささら、太鼓に唄など、みんなが一緒になると、なんとも言えない高揚感を得ました。草履が食い込んで痛くても、脚や手が上がらなくなっても舞い続け、身体の痛みが気にならないくらいアドレナリンが出ていました。2日間とも踊らせていただき本当にありがとうございました。次回はもっと動きを教わり、体力をつけてリベンジしたいと思います。（樋口雅紀）

「祭り」っていいですね！若い衆が村に帰ってきて獅子を舞い、昔話に花が咲き、今を受け止め合う。地域の方それぞれが持ち場を支えながら、観光客も移住者もいろんな世代がごちゃまぜに、一つのことに関わる。活気と笑顔！守っていききたい光景だなと思いました。

今回は裏方として関わらせていただきました。一步引いて、中も外もどちらも分かるから見えた景色。とっても素敵でした。ありがとうございました！（仲野宏樹）



お盆の「松根」を用意しています

協力隊2年目の吉岡漠です。昨年に続き、今年もお盆の迎え火・送り火用の松根の支度をしています。この活動を始めようと思ったきっかけは、丹波山村ではお盆に松根を焚く習慣があっても、山から松の根を掘ってきてそれを割って薪にするのが大変なために、できる人が少なくなってしまったという話を聞いたことでした。

僕は元々植木屋の仕事をしていたので、木の根を抜く知識や薪割りの経験もあり、自分にできると思い、挑戦することにしました。昨年は用意した全ての松根を配ることができました。今年も用意ができ次第、無料で提供しますので、ご自由にお持ちください。配布場所は国道411号沿いの「TABA CAFE」を予定しています。

この活動のほかにもいろいろなことをしていますが、それも丹波山村あってのものです。丹波山の文化や伝統を大事にしてこそ、自分もここで自信をもって活動できると思っています。 (吉岡漠)



8月20日・21日に自転車イベントを開催します

こんにちは！協力隊の自転車おバカこと、清水岳人です。夏本番の8月、子どもも大人も楽しめる自転車イベントを丹波山村で開催します。ただいま絶賛準備中です。詳細は決定次第、チラシやSNSで告知します。ぜひ足を運んでください。 (清水岳人)



おかげさまで1周年を迎えました。
協力隊通信持参でドリンク50円引きで提供します。



手探りの状態でスタートした「灯里」ですが、皆様に支えていただき、オープンから1年が経ちました。ご意見やご要望などを聞かせていただくおかげでより良いお店づくりにつながっていると感じています。

日頃のご愛顧に感謝を込めて、この「地域おこし協力隊通信」を持参してご来店いただいた村民の方には、8月30日までドリンクを50円引きで提供させていただきます。ぜひご来店ください。お待ちしております。

(西山寿恵)